

平成29年2月19日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(48回公演)報告
29.2.18 熊連協第24回芸能祭 熊谷市桜木町

熊連協第24回芸能祭が熊谷市文化センターで開かれました。9時30分から開会式が開かれ、中島熊連協会長の挨拶、富岡熊谷市長らの来賓の挨拶のあと60組の演技が始まりました。

我々の出番は58番目で最後から3番という芸能祭を最高に盛り上げる役目を担う好位置で、昨年の実績を踏まえ熊連協から一定の評価を得たと自負しています。

メンバーは午後1時30分に会場ロビー集合で、時間前には4人全員が揃いました。少し間をおいて更衣室に入り祭り半纏に着替え準備しました。部屋に入ると、出番を待つスター(?)たちが不安半分、嬉しさ半分で少々の蒸気気味の顔で、これから始まる演技にそなえ大勢の人が着替えていました。出番が近づくと少々緊張してきました。アナウンスと共に舞台に立ちました。と同時に会場の前の方に陣取った村田のコーラス仲間の女性集団約10人から昨年に続き「ヒロちゃん」と大きな激励の掛け声がかかり、舞台から手に持っていた万国旗を振り振りして応えました。

今日の演技「東京五輪音頭」は根岸さんが中心になって自分達で考え出した振付で、既に十分な練習を重ねてきていたので、大きな間違いもなく大成功の内に終わりました。演技終了後コーラス仲間の座席にお礼に行き「良かったよ」と皆さんが言ってくれました。また夜には栗原さんから「演技終了後、支度部屋に帰る途中、見知らぬ女性の方から『大変良かったです。』という労いの言葉をかけられ感動しました。」という嬉しいメールも届きました。満足した今年の芸能祭でした。

最後の抽選会では、根岸さんが当たり立派な景品を戴きました。



